

6 豪雨による災害

梅雨前線が九州付近に停滞し続けたことにより記録的大雨となった令和2年7月豪雨により、肥薩線450箇所、久大本線145箇所、鹿児島本線26箇所、その他線区109箇所の鉄道施設に、橋りょう流失、線路流出、切取斜面の崩壊や盛土の流出、線路への土砂流入及び倒木等の計730件の被害があり、多くの路線で運休が発生しました。なお、肥薩線八代～吉松間(約86km)は現在も復旧の見通しは立っていません。



[橋りょう流失]

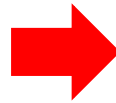


[線路流出]



[切取崩壊]

久大本線豊後森～庄内間においては、豊後中村～野矢間第2野上川橋りょう流失をはじめ盛土・路盤・道床流出等が発生したため、運転休止を余儀なくされましたが、関係機関のご尽力により協議及び各種の工事を鋭意進めた結果、被災から約8ヶ月後の2021年3月1日に全線で運転を再開することができました。



[被災時]



[復旧]